

## 一般質問



平出高博 議員

質問 新年度予算が前年度より10億円増えた理由は。

新年度は、緊急性・必要性の高い事業を中心に絞り込み、また徹底的に経常経費を削減する中で予算案を策定しました。

望書を提出したところで、けるものであり、国等へ要望書を提出したところでは、

## 予算に関する一般質問

折井金興 議員

質問 財政は厳しくなるとの説明に対し、12.3%伸びたこととの整合性は。

質問 国の三位一体改革の影響は。

中山 孝 議員

答弁 三位一体改革の影響で、国からの補助金・負担金が大きく削減されました。デイサービスセンター補助金が8千万円から2.5千万円に減額されたのも一例です。予算案では地方交付税を16・3%の減額と見込みました。そのため歳出削減を余儀なくされた項目が多く、非常に厳しい年となりました。このように三位一体改革は、負担を地方へ押し付けるものであり、国等へ要望書を提出したところでは、

なお、来年度からは大型工事が完了しますので予算も減額できる予定です。当初予定されていた事業の多くが先送りされましたが、その主なものは、図書館の増築、落合・本郷小学校の耐震診断などです。これらの予算は、来年度以降に予算化する予定です。

質問 新年度予算編成時に削減した項目は。

三井幹人 議員

質問 新年度予算の特色は。

小林 光 議員

少子高齢化・社会福祉施設の整備・地域通信網の整備など4大事業を計画しました。そのため予算の総額は実質で8.4%増え、総額80億4千万円の積極型となりました。しかし予想では税収が大幅に減るので、財政調整基金を5.8億円、減債基金を1億円取り崩して、財源確保をしたところでです。

質問 富士見町再出発元年との位置づけの中で、自主財源の確保は。イントラネット整備事業の将来的活用は。また「新しいまちづくり係」とは。



小池久長 議員

質問 町長就任以来、行政改革の効果と反省点は。今回の行政改革で期待するものとは。

エンジェル千代子 議員

質問 組織改革で受け易くなったサービスと、見込まれる効果は。

小池一夫 議員

質問 「新しいまちづくり係」の担う住民サービスと、情報を共有するパートナーシップとは。

小中市子 議員

答弁 収入役には限られた権限しか与えられていません。

兼掌助役を設け、収入役2人制にし、扱える仕事の幅を広げることになりました。

「新しいまちづくり係」は、町民の知恵をおかりして地場にあつた新産業の育成や、自力開発能力向上に努めていきます。マイナスよりプラスのものを採っていきたいと考えています。

自主財源の確保のための産業誘致や、イントラネットの将来構想も平行して進めてまいります。要は住民の要望に答えられることが一番だと感じています。

